

2007年10月16日

環境にも人にも優しい「エコトートバッグ」を製作  
建設現場から生まれた実用的商品は丈夫で長持ち、持ちやすさも抜群！

長谷工コーポレーション（本社・東京都港区、社長：岩尾 崇）は、建設現場で使用する工具や資材、ゴミ（※1）などさまざまなものを持ち運ぶための多目的袋「エコトートバッグ」を製作しました。これまで現場で使用してきた土嚢袋や米袋の弱点（※2）を改善し、丈夫で持ちやすく環境にも人にも優しい（※3）エコトートバッグに仕上げました。現場で「何かいい工夫はできないか」という声から生まれた実用的商品です。株式会社長谷工ナヴィエ（本社・東京都千代田区、社長：高橋 好彦）が外販しています。

- （※1）コンクリート、型枠、鉄筋、設備、電気、造作、クロス、フローリング、タイル、吹付け工事などで発生するゴミ。主にくぎ、鉄線、荷札、資材の端材や切りくず、資材使用後の袋や容器、包装材、コンクリートガラなど。
- （※2）①生地が薄く、破れたり、孔があき易い②袋の先端を掴んで肩に担ぐ持ち方が腕、肩、腰に負担が大きいという2つの弱点がありました。
- （※3）①生地が厚く、耐久性に優れた素材を使用することで何度でも再利用（リユース）でき、②ショルダーストラップ（肩掛け）をつけることで無理のない姿勢で持ち運びが可能な、環境にも人にも優しい商品に仕上げました。

【「エコトートバッグ」の概要】

- 強度に優れたポリプロピレン製
- 持ち運びしやすいショルダーストラップ（肩掛け）付き
- 大サイズ（幅730mm×高さ500mm×奥行き230mm）と小サイズ（幅400mm×高さ500mm×奥行き230mm）の2種類で使い分け  
（木くずなど軽くてかさばるゴミは大きい袋、コンクリートガラなど重いものは小さい袋を使用し、運ぶものや用途によって使い分け。）



（写真は大きいサイズ）

### 【土嚢袋・米袋とエコトートバッグの性能・コスト比較】

	耐久性(利用回数)	持ちやすさ(持ち手)	1枚当たりの金額
土嚢袋・米袋	△(数回)	△(なし、又は紐)	10～20円
エコトートバッグ	◎(何度でも)	◎(ショルダーストラップ)	小:230円、大:250円 (2007.10.1現在)

### 【現場での利用状況】

\*出庫枚数 (大)17,000枚 (小)7,000枚

\*現場数 首都圏 57現場

(2007.10.1現在)

### 【今後の展開】

使用現場へのアンケート調査等を実施し、改良点や使用用途についての情報を集め、エコトートバッグのさらなる利用拡大を図っていく予定です。例えば、ショルダーストラップを色分けしゴミの分別収集に役立て、これまで以上に廃棄物を出さない現場づくりを推進していきます。